

## (1) 協和中学校区の取組について

教育委員会では「学校の在り方検討委員会」から提出された「明野五葉学園整備後の学校の適正配置の取組」に係る答申（令和5年9月26日）に基づき、協和中学校区の学校の適正配置について検討を進めている。

### 《今後5年間で特に取り組むべきこと》

協和中学校区においては、今後も児童生徒数の減少が見込まれることから、望ましい教育環境が見込める義務教育学校（施設一体型）の設置、又は小学校の統合による学校の適正配置の検討を開始すること。

## 1 令和6年度の取組【参考① 協和地区協議会だより vol.1、2】

令和6年5月に「学校の在り方」協和地区協議会を立ち上げ、協和中学校区のより良い教育環境の整備に向けた学校の適正配置について検討を行った。

その結果、11月に協和地区協議会から「協和中学校の敷地に施設一体型の義務教育学校を設置する方向」で検討を求める意見書が提出され、令和7年2月に、より具体的な検討を行うための「義務教育学校・協和地区準備委員会」を設置した。

## 2 令和7年度の取組

令和7年6月に協和地区準備委員会や保護者説明会等を開催し、意見を聴取したうえで、8月に協和中学校区における義務教育学校の整備に関する基本的な方針を「基本構想・基本計画」として策定した。

その後、9月の市議会定例会で設計業務委託料の補正予算が可決されたことから、プロポーザル方式によって業者を選定し、12月から設計業務を開始した。

また、協和地区準備委員会においては、学校名やスクールバスの運用等の検討を進めた。

## (1) 義務教育学校整備事業（ハード事業）【参考② 基本構想・基本計画（概要版）】

### ① 基本設計・実施設計

- |        |                                |
|--------|--------------------------------|
| ・ 設計業者 | 株式会社桂設計 茨城事務所                  |
| ・ 契約期間 | 令和7年12月26日から令和9年5月20日まで（511日間） |
| ・ 設計概要 | 校舎及び屋内運動場の整備 等                 |

### ② 用地購入

現在、無償で借地している協和中学校北側の土地（協和学校給食センター跡地）のうち、3筆を購入する計画とし、敷地境界確定測量及び不動産鑑定を実施している。

## (2) 協和地区準備委員会（ソフト事業）【参考③ 準備委員会だより 1、2号】

### ① 全体会・幹事会

令和7年度は全体会を1回、幹事会を2回開催し、「基本構想・基本計画」の内容や各専門部会の検討結果について協議を行った。

### ② 総務部会

教育委員会へ推薦する学校名の案を検討するため、学校名の募集を行った。

募集の結果を踏まえ、部会として推薦する学校名（案）を『協和学園』とし、来年度に開催する準備委員会（全体会）で諮ることとした。

- ・ 募集期間 令和7年11月20日～12月19日
- ・ 応募件数 264件（155案）
- ・ 応募が多かった学校名  
協和学園（46件）、協和義務教育学校（16件）、協和小中学校（16件）

### ③ P T A部会

スクールバスの利用基準・乗降場所の設置方針や、具体的な乗降場所の候補地についてグループワークを実施し、検討を行った。

また、通学路については、改善してほしいという意見があった箇所について、関係機関への要望書の提出を検討することとした。

### ④ 学校運営部会

令和12年度の開校に向けて、スムーズな統合が図られるよう宿泊学習や学校徴収金、「生活・学習のきまり」など、開校前から統一できるものについて検討を行った。

## 3 今後の取組

- ・ 義務教育学校整備事業（ハード事業）については、令和12年度の開校を目指し、「基本構想・基本計画」に基づく設計業務を進めていく。
- ・ 協和地区準備委員会（ソフト事業）については、学校名や「校章・校歌」、スクールバス運行方法及び学校運営方針などの検討を進めていく。